

津市林道施設長寿命化計画

(個別施設計画)

令和7年(2025年)～令和11年(2029年)

令和7年4月

津 市

1. 基本的事項

(1) 背景

平成26年8月29日に林野庁が策定した「林野庁インフラ長寿命化計画（行動計画）」により、林道台帳に記載された橋梁、トンネル、その他重要施設に対して、5年に1度の点検診断を実施しています。本市の林道施設における点検診断は、令和元年度と令和6年度に実施しました。

令和元年度に実施した点検診断の結果に基づき、「林道施設の個別施設計画」（令和2年～6年）を作成し、5橋梁の詳細測量設計と3橋梁の修繕工事を実施しました。

(2) 目的

林道施設の維持・強化に必要な対策を適切な時期に実施するとともに、得られた施設の状態や対策の履歴等の情報を記録・更新することで、今後の効果的かつ効率的な維持管理・更新等につなげるメンテナンスサイクルの構築を図り、将来にわたって求められる機能を適切に発揮し続けるための長寿命化対策の充実を図ることを目的としています。

(3) 計画期間

令和7年度～令和11年度の5か年

(4) 次回定期点検時期

令和11年度

2. 長寿命化計画

(1) 対象施設

本市が管理する林道施設（橋梁128基、トンネル1基）

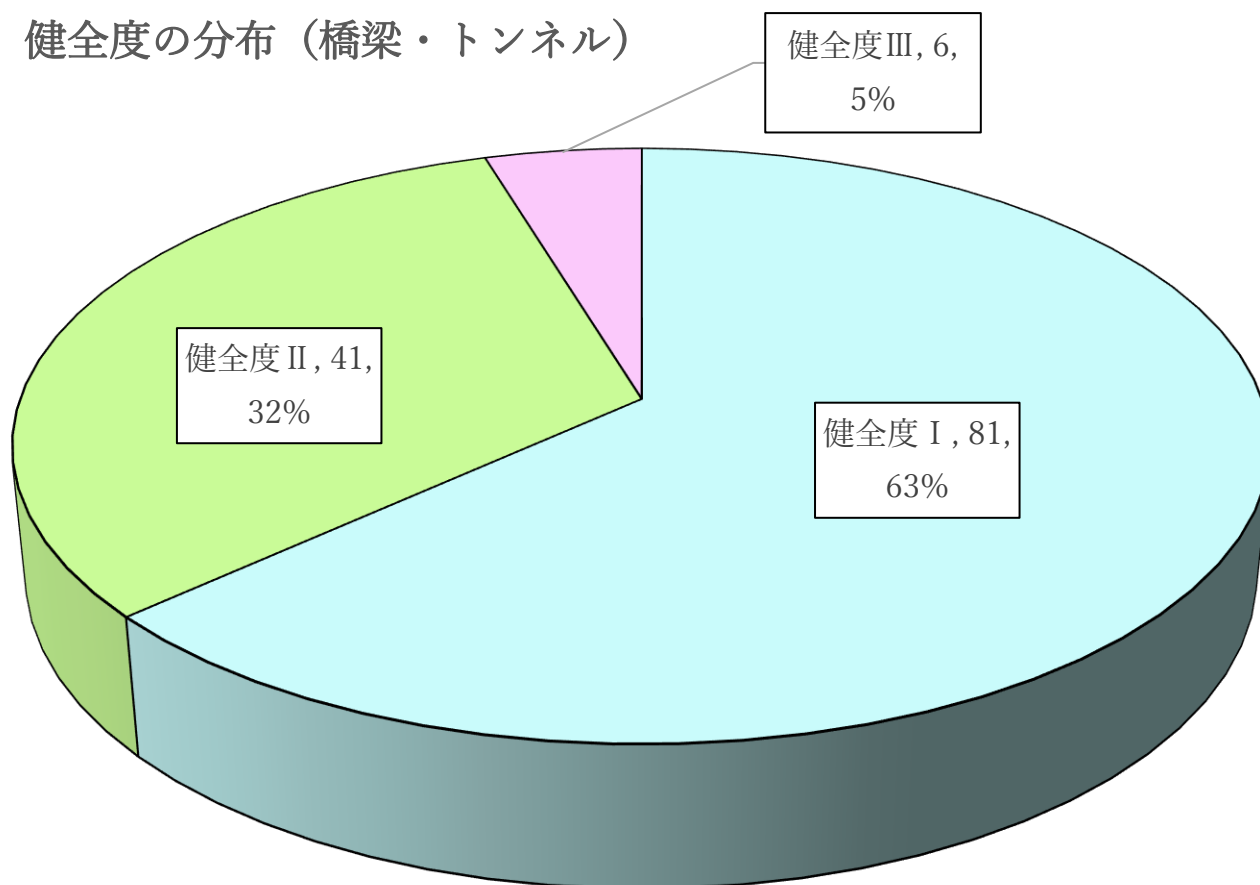
※橋長が4m以下の4橋梁は対象外

※点検診断実施年度に修繕を実施する橋梁は点検診断の対象から除外

(2) 点検結果

令和6年度に実施した点検診断は、橋梁127基とトンネル1基で、緊急の修繕が必要である（健全度Ⅳ）と診断された林道施設はありませんでした。修繕が必要である（健全度Ⅲ）と診断された林道施設は6橋梁、状況に応じて修繕が必要である（健全度Ⅱ）と診断された林道施設は40橋梁とトンネル1基でした。

健全度の分布（橋梁・トンネル）



(3) 対策の優先順位

対策の優先順位は、「健全性の低い林道施設」を最優先とすることを基本とし、「社会的影響の大きい林道施設(利用頻度など)」を考慮します。

(4) 修繕計画および点検診断

施設名	健全度	計画年度				
		令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年
桑俣線1号橋	健全度Ⅲ	修繕				
大棕谷線1号橋	健全度Ⅲ	修繕				
柚ノ木越線1号橋	健全度Ⅲ	測量設計		修繕		
安子谷線1号橋	健全度Ⅲ		測量設計		修繕	
笹子線2号橋	健全度Ⅲ	測量設計		修繕		
ナメンダラ線1号橋	健全度Ⅲ		測量設計		修繕	
点検診断(129 施設)*内トンネル 1						点検診断

(5) 計画予算

林道6路線の橋梁(6基)修繕費(概算) 健全度Ⅲ

林道路線名	橋梁名	測量設計費	修繕費(概算)	合計
桑俣線	1号橋	R6 実施	3,730 千円	3,730 千円
大棕谷線	1号橋	R6 実施	7,165 千円	7,165 千円
柚ノ木越線	1号橋	5,275 千円	1,955 千円	7,230 千円
安子谷線	1号橋	4,584 千円	5,675 千円	10,259 千円
笹子線	2号橋	5,275 千円	15,611 千円	20,886 千円
ナメンダラ線	1号橋	4,584 千円	7,004 千円	11,588 千円
合 計		19,718 千円	41,140 千円	60,858 千円